

## 会 報

### 平成15年度第4回日本公衆衛生学会 理事会議事録

1. 日 時 平成16年 1月20日(火)13:30~17:00
2. 場 所 東京厚生年金会館
3. 出席者 理事長 多田羅浩三

学会長 多田 學  
 理 事 相澤好治 阿彦忠之  
           大井田隆 角野文彦  
           金川克子 小林廉毅  
           近藤健文 佐藤 洋  
           實成文彦 篠崎英夫  
           澁谷いづみ 新庄文明  
           中川秀昭 中原俊隆  
           藤崎清道 松田 朗  
           三角順一 村嶋幸代(20名)

監 事 能勢隆之 (1名)

#### 委任状提出者

副会長 中島雪夫 永田伸二  
           錦織 勝  
 理 事 入山文郎 遠藤 明  
           嶋本 喬 伊達ちぐさ  
           藤田利治 森田倫史

監 事 宮武光吉

#### オブザーバー

岸 玲子 (北海道大学大学院医学系  
研究科教授)

志渡澤祥宏 (京都市保健福祉局保健  
衛生推進室健康増進課保  
健企画係長)

現在理事数29人, 出席者20人, 委任状提出者9人  
学会規定第13条第1項による定数に達している  
ことを確認の後, 多田羅浩三理事長が議長となり  
開会を宣した。議事に先立ち多田羅理事長から挨拶  
があった。

#### 議事録署名人の選出

議事録署名人に, 三角順一 大井田隆両理事が  
指名された。

#### 指名理事の交代

多田羅理事長から指名理事に就任していただ  
いていた岡田尚久氏が全国保健所長会会長を交替さ  
れたため, 同会から推薦あった副会長の澁谷いづ

み氏にあらためて指名理事に就任いただいた旨報  
告があった。

#### 議 事

##### 第1号議案 第62回(平成15年度)日本公衆衛生 学会総会について

中原俊隆前学会長から, 第62回日本公衆衛生学  
会総会について資料による説明と総会事務局作成  
のDVDの紹介があった。(報告の詳細は第62回  
日本公衆衛生学会総会(京都)のまとめを参照の  
こと)

時代祭の影響を心配したが, 学会員は熱心で,  
祭りの間の教育講演も盛況であった。

はじめての試みとしてランチョンセミナーを実  
施したが, 短時間で満席となり成功であった。

たばこのない社会の実現に向けた行動宣言を本  
学会総会で行うことができ, 喜んでいる。

総会の会場費が例年よりかなり高額となった。  
決算報告については, 学会機関誌へ掲載する。

以上により, 本議案は了承された。

##### 第2号議案 第63回(平成16年度)日本公衆衛生 学会総会について

多田 學学会長から資料にもとづき, 第63回日  
本公衆衛生学会総会について検討中のものも含め  
て具体的な説明があった。

宿泊施設は, 松江市内でシングル1900室, 出雲  
市, 米子市をあわせると4000室確保できるので,  
心配はない。

以上により, 本議案を了承することとした。

##### 第3号議案 第64回(平成17年度)日本公衆衛生 学会総会について

岸 玲子次期学会長から第64回日本公衆衛生学  
会総会について説明があった。

開催時期は, 都道府県市町村の議会の日程, 北  
海道の気候, 航空運賃等を考慮し, 2005年の9月  
14日から16日とし, 札幌コンベンションセンター  
で開催することとした。

宿泊は, 札幌市内で20,000室あるので, 他の学  
会総会と同時進行でも問題はない。

以上により, 本議案は了承された。

##### 第4号議案 第65回(平成18年度)日本公衆衛生 学会総会について

多田羅理事長から第65回(平成18年度)日本公  
衆衛生学会総会学会長候補の選定について, 該当  
するブロックとしては東海・北陸があげられる

が、平成10年に岐阜で総会を開催していることから、北陸を中心に考えてはどうか、提案があった。

検討の結果、東海・北陸選出の中川秀昭理事に一任し検討頂くこととし、4月理事会までその結果を待つこととした。

以上により、本議案は了承された。

#### 第5号議案 奨励賞について

多田学会長から資料にもとづき、平成16年度の奨励賞について説明があった。

選考委員は、例年の委員構成にもとづき、委員長は多田学会長、委員は岸次期学会長、藤崎清道理事、相澤好治理事、澁谷いづみ理事、近藤健文理事、大井田隆理事にお願いしたい旨提案があった。

以上により、本議案は了承された。

#### 第6号議案 その他

近藤健文理事から、日本医学会会長・副会長の改選について説明があった。

検討の結果、社会医学系の副会長として多田羅理事長を推薦することとし、了承された。

### 報告事項

#### 1. 委員会報告

##### 1) 編集委員会

小林康毅理事から、50巻記念事業として、「公衆衛生領域の調査・研究と倫理」をテーマの座談会を11月号に掲載した。これまで掲載したものをまとめて、冊子を作成する予定である旨、説明があった。

英文誌の発行については、3回にわたり理事会で継続審査をいただいていたが、検討の結果、年間12号発行している日本公衆衛生雑誌のうち1号を英文誌とすることとした。

##### 2) 公衆衛生研修委員会

近藤委員長から11月27日から29日に開催された平成15年度医師臨床研修「地域保健・医療」研修指導者開発ワークショップについて報告があった。

多田羅理事長から、指導者の養成であるが、自ら考えるという画期的な研修であった旨説明があり、角野彦彦理事からは全国保健所長会でも、来年度は全国を3ブロックに分けて研修を考えている、篠崎英夫理事からは国立保健医療科学院では指導者の研修を考えているが、具体的な方法については未定である旨説明があった。

##### 3) 地域保健委員会

阿彦忠之委員長から「医学研究者とたばこ産業との関係に関する調査」について報告があった。

小林理事から、学会機関誌への投稿論文が、たばこ産業および関連する財団等との共同研究、それらから研究費を受けた研究である場合の対応について、編集委員会でも検討するとの発言があった。

##### 4) 感染症対策委員会

角野委員長から10月22日学会総会初日に開催した「感染症フォーラム」について報告があった。

約400人の参加があり、アンケート調査の結果によると、80%以上の人が内容に満足し今後の業務の参考になると評価しているが、改善すべき点として、時間が足りない、内容が欲張りすぎ、スピーカーをしぼってもよかったのではないかとの意見があった。

5) 公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会  
金川克子委員長から12月19日開催の委員会の報告があった。

(詳細は別紙)

##### 6) IT化検討委員会

中川秀昭委員長から1月5日に日本公衆衛生学会のホームページが公開され、多少のトラブルはあったが、順調に進んでいる旨報告があった。

次回理事会までに、もう一度委員会を開催することとし、学会からの連絡、会員相互の連絡、掲載する情報の管理をどこにするか、また、来年度は会員名簿を作成するため、作成方法についても検討することとした。

##### 7) 規定改正委員会

松田 朗委員長から、役員選出に関する規程の修正案について、評議員会で指摘された箇所の説明と、そのため前回の理事会で説明した案を一部修正して総会に報告した旨の報告があった。

また、評議員会で意見がだされた役員選挙における得票数の公表について検討した結果、選挙管理委員会(評議員選挙の開票、理事・理事長選挙の開票)が公開されているのだから、あたらめて公表はしないこととした。

#### 2. その他

1) 三角順一理事から、来年度の名誉会員の候補者について、5月末までに広く推薦してほしいとの依頼があった。

また、阿彦理事から、評議員会で意見がだされた、一般に公衆衛生の主旨に反する行為をしている名誉会員に対する扱いについて、検討してほしい旨提案があった。

2) 近藤理事から、入山文郎理事が1月22日開催のビル管理教育センターの第31回建築物環境衛生管理全国大会式典に、多田羅理事長の代理で出席し、祝辞を述べる旨報告があった。

3) 次回理事会は、4月27日(火)13時半から東京厚生年金会館において開催する。

以上で議事を終了し、多田羅理事長が閉会を宣した。

---

#### 日本公衆衛生学会 公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会記録

日時 平成15年12月19日(金)14:00~17:00

場所 日本公衆衛生協会3階会議室

**出席者** 金川克子委員長, 大井田隆委員, 實成文彦委員, 村嶋幸代委員

**欠席者** 角野文彦委員, 伊達ちぐさ委員

#### 検討事項

##### 1. 自由集会 (H15.10.22)

「公衆衛生看護における人材育成のあり方をめぐって」のまとめについて

前回は学士課程を中心にワークショップを行ったが、今回は引き続いて卒業後教育・研修についてワークショップを行い、そのまとめと今後の方向について検討した。

##### 2. 今後の方向

1) 地域看護学の大学院等のモデルコアカリキュラムの検討を行う。

ワーキンググループを設置

2) 第3回フォーラム(シンポジウム)の開催「公衆衛生看護の人材育成の向上をめざして」を日本公衆衛生学会総会(島根)の折りに開催したい。